

夏バテを撃退しよう!

暑い夏は、身体に無理が生じ、体調を崩しやすい季節です。夏バテ予防の、スタミナ料理レシピなどを紹介します。生活のリズムを守り、食生活に気をつけて、暑い夏を元気に乗り切りましょう。



暑い夏にも負けない!

夏バテとは・・・

夏バテは、高温の外気・大量の発汗・胃腸の消化機能低下などの原因により、食欲低下や睡眠不足・体力消耗などの症状が現れる夏特有の症状です。

夏バテの原因

外気が高温になるとその外気に対応し熱を体内に溜め込まないようにするため、大量の汗をかき体調を整えます。しかし、大量の汗と一緒に体内に蓄積されていたビタミン類やミネラル類が一緒に排せつされてしまうため、体内的ミネラルバランスが崩れ、疲れやすくなる原因となります。

納豆長いもそば

●材料(1人分)	●作り方
ゆでそば 1袋(250g)	①そばは熱湯に入れて軽くゆでる。 冷水を取り、水気を切る。
納豆 1パック(40g)	②長いも・大根はそれぞれ皮をむいておろす。
長いも 40g	③オクラはゆでて、小口切りにする。万能ねぎは小口切りにする。
大根 30g	④器に①・②・③・温泉卵と納豆を盛り、めんつゆをかける。
オクラ 1本	
万能ねぎ 5g	
温泉卵 1個	
めんつゆ 150cc	

長いも・オクラ・大根は胃腸での消化吸収を助け、納豆・そばにはビタミンB群が豊富に含まれています。麺料理は具たくさんにし、ゆっくりよくかんで食べることを心がけましょう。

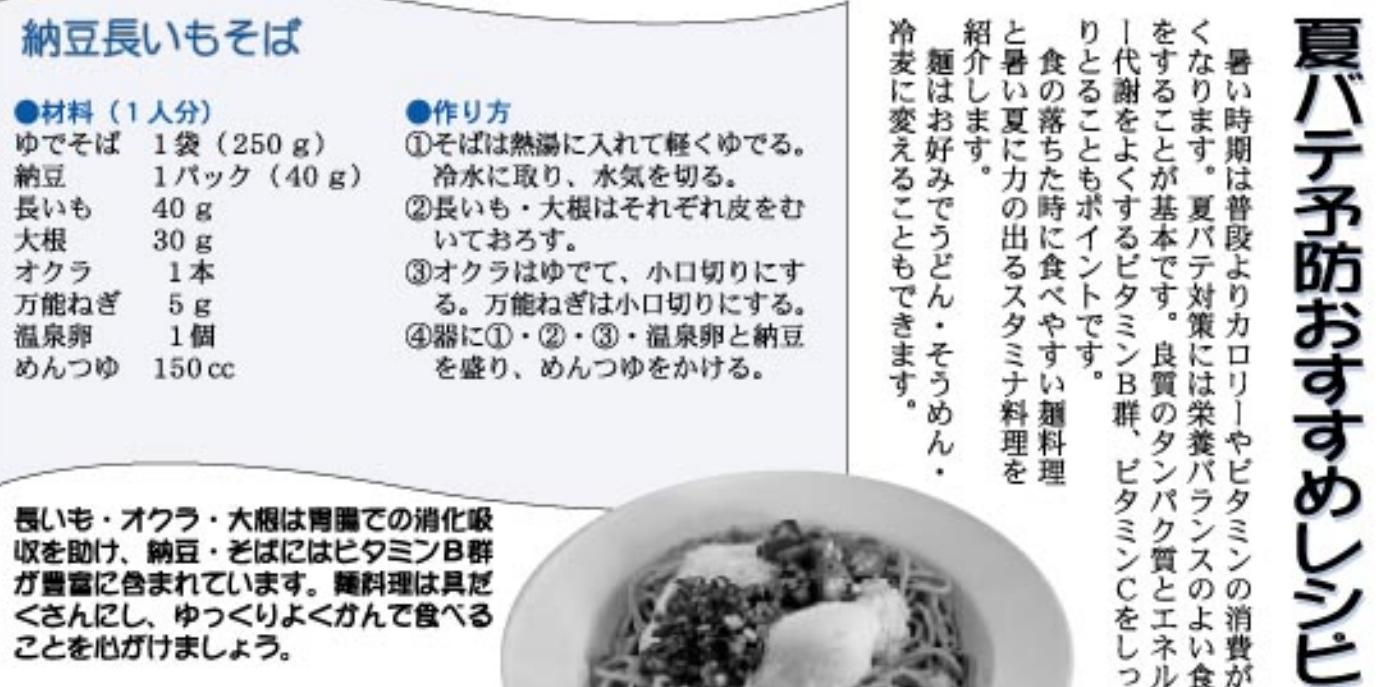


暑い季節には、体内の糖を燃焼させるビタミンB1が多く消費され不足しがちになります。ビタミンB1を豊富に含む豚肉とビタミンB1の利用効率をアップするアリシンを含むにんにく・玉ねぎを組み合わせ、上手にビタミンB1をとりましょう。

ナスの豚肉ロール焼き

●材料(1人分)	●作り方
ナス 1/2本	①ナスはヘタを取り、縦4つ切りにする。
豚もも薄切り肉 2枚	②豚肉に塩・こしょうをふり、①のナスの中央から斜めに巻き付けて、小麦粉をまぶす。
塩 少々	③フライパンに油を熱し、②の巻き終わりを下にして全体を焼く。
こしょう 少々	④レタスは細切りにする。万能ねぎは小口切りにする。
小麦粉 適宜	⑤大根はおろして軽く水気を切り、しょうゆを入れて混ぜる。
油 少々	⑥器にレタスを敷き、半分に切った③を盛り、⑤と万能ねぎをかける。
レタス 1枚	
大根 25g	
万能ねぎ 少々	
しょうゆ 少々	

夏野菜には、水分やビタミン・ミネラル類が豊富に含まれており、体を冷やす作用があるといわれています。ビタミンB1が豊富な豚肉、消化を助ける大根とともに、さっぱりといただけます。



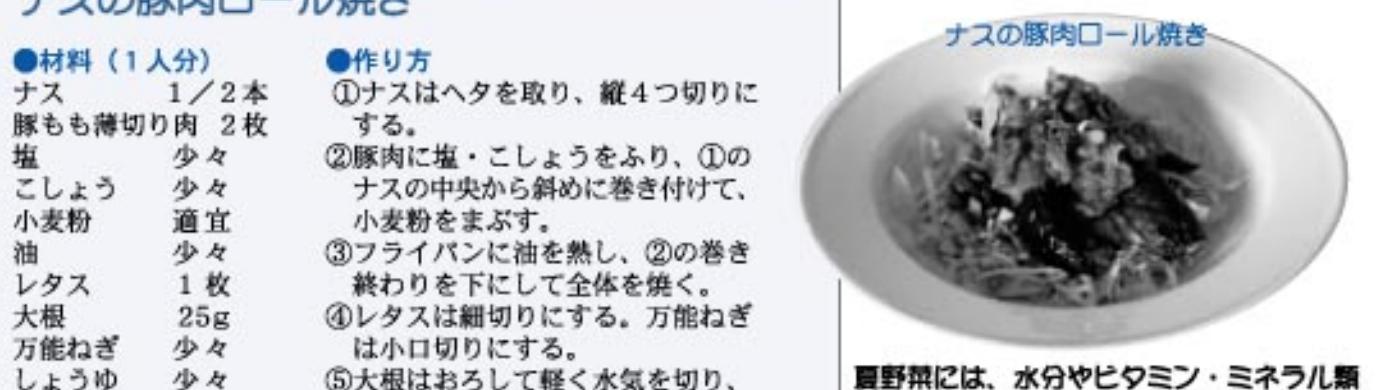
夏バテ予防おすすめレシピ



◆問合先
健康推進課
32-3000

●材料(1人分)	●作り方
豚肉(しゃぶしゃぶ用) 70g	①豚肉は酒を入れた熱湯でゆでてザルに上げる。
酒 大さじ1/2	②玉ねぎ・人参・ピーマン・きゅうりは千切りにする。水菜は3cmの長さに切る。
玉ねぎ 30g	③きゅうり・水菜以外の野菜は軽くゆでる。
人参 10g	④ボウルに①・②・③を入れてよく混ぜ合わせたら、にんにくを加えた好みのドレッシングを加えて和える。
ピーマン 10g	※1時間位おくと味がなじみます。
きゅうり 10g	
水菜 10g	
おろしにんにく 少々	
市販のドレッシング 適宜	

暑い季節には、体内の糖を燃焼させるビタミンB1が多く消費され不足しがちになります。ビタミンB1を豊富に含む豚肉とビタミンB1の利用効率をアップするアリシンを含むにんにく・玉ねぎを組み合わせ、上手にビタミンB1をとりましょう。



夏野菜には、水分やビタミン・ミネラル類が豊富に含まれており、体を冷やす作用があるといわれています。ビタミンB1が豊富な豚肉、消化を助ける大根とともに、さっぱりといただけます。

- 1 冷房温度をうまく調節する
- 2 こまめに上着を脱ぎ着替をうまく使う
- 3 冷房よりも除湿、扇風機をうまく使う
- 4 寝る前に冷房はタイミングをかける
- 5 安眠には頭を冷やす
- 6 お腹を温め物をとりすぎない
- 7 少量でも良質のたんぱく質、ビタミン、ミネラルをとる
- 8 香辛料などをうまく利
- 9 夏太りに注意する
- 10 上手に汗をかく

夏バテ対策10カ条

これが夏バテの原因となる方もいるようです。

暑くなると消化酵素の働きも弱まります。また、冷たい飲み物を多くとることで、胃腸が冷えて消化不良を起こします。そのため、食欲が落ちてあつさりしたものをおんで食べるようになり、タンパク質やビタミン・ミネラル類の栄養素が不足しがちになり、食欲低下・体力消耗につながります。

また、冷えすぎも防ぎましょう。冷房など冷やしすぎに注意し、自分で環境温度の調節ができる場所へ出入りする際には、上着やひざ掛けなどを用意して自己調節しましょう。

暑い夏は、身体に無理が生じ、体調を崩しやすい季節です。夏バテ予防の、スタミナ料理レシピなどを紹介します。生活のリズムを守り、食生活に気をつけて、暑い夏を元気に乗り切りましょう。